



Title	年表（1945-2025）井戸武實の歩みと社会の動き / 井戸武實の主な学会発表と著書等 / 資料 / 思い出のアルバム
Author(s)	逢坂, 隆子; 西成労働福祉センター; 井戸, 武實 他
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 59-81
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100741
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

III. 年表 (1945—2025)

井戸武實の歩みと社会の動き

三浦 康代

元奈良学園大学保健医療学部教授

西暦	和暦	満年齢	井戸武實の歩み	社会の動き
1945	昭和20	0	1月1日 井戸武實（いどたけひろ）和歌山県にて男7人兄弟の4男として誕生（「戦中の一番世の中が大変なときに誕生」「父が早世したが大家族で実に良かった」と自身のエッディングノートに表現）	三河地震/広島・長崎に原爆投下/ボツダム宣言受諾・終戦/枕崎台風/GHQの指示により、厚生省は引揚に伴う結核患者や急性伝染病への対処に追われた/結核予防会第一健康相談所がレントゲン器械で模範地区住民検診を開始/終戦直後の総人口約7200万人
1946	21	1		結核予防会が東京駅跡で無料結核検診を開始し所見率平均10%/GHQが厚生省に対して「結核患者及びその疑いのある者の検診と隔離」の命令を発す/昭和南海地震
1947	22	2		GHQが「結核対策強化に関する覚書」を発す/労働基準法制定/福井地震/保健所法全面改正（保健所は人口10万ごとに都道府県・政令市に設置、保健婦の増員）/農林省が開拓保健婦制度開始/結核予防会主催の街頭検診から全国的な結核予防国民運動に発展/結核が死因順位の第1位(1950年まで)
1948	23	3		結核予防会結核研究所が第1回結核専門医講習会開始/予防接種法公布/保健婦産婦看護法制定/保健婦駐在制度開始が香川県・高知県・沖縄県・和歌山県等で実施（1994年まで続く）
1949	24	4		湯川秀樹博士が日本人初のノーベル賞/BCG接種が法制化・30歳未満に毎年1回ツベルクリン反応検査を受け、BCGによる免疫獲得ができない場合は繰り返しBCG接種/結核予防週間が全国的に10/25~10/31に統一され、全国各地で街頭無料検診・街頭相談等を実施/小川辰次が結核菌培養小川培地を作製
1950	25	5		1950年~1970年スマン病多発/朝鮮戦争勃発/社会保障審議会が結核対策について勧告（被用者については年1回以上の定期健康診断、被用者以外の6~30歳までの一般住民は毎年1回健康診断を受けること）/平均寿命男59.6歳、女63.0歳
1951	26	6	本宮町立静川小学校入学（1989年に休校後も木造平屋建て校舎が残り、現在は朝ドラのロケ地にも活用）	結核予防法制定/診療エックス線技師法制定/結核予防会結核研究所が医師、レントゲン技師及び保健婦の再教育を実施/結核予防法全面改正(予防接種・結核健診・適正医療の普及の3柱)①結核健診受診者の範囲の拡大②BCG予防接種は30歳未満の全国民に毎年行うよう拡大③結核患者登録④公費負担の実施)/結核予防会と保健所等がレントゲン自動車でのX線間接撮影による結核集団検診を盛んに実施/サンフランシスコ講和条約調印/日米安全保障条約調印/結核が死因順位第2位となる
1952	27	7		X線間接撮影による結核健診受診者1,240万人超/BCG接種1,000万人超/「鉄腕アトム」連載開始
1953	28	8		テレビ放送開始/南紀豪雨/町村合併促進法により市町村数が3分の1に/「大阪公衆衛生の会」発足/厚生省が第1回結核実態調査実施（結核患者数は国民の3.4%、要入院者は1.6%と推定）/保健所保健婦の家庭訪問件数がピーク/結核が死因順位の第5位となる
1954	29	9		「大阪公衆衛生協会」創設/洞爺湖台風/厚生省の「検診用エックス線懇話会」が、レントゲン自動車のエックス線防護に萬全の処置をとる必要があることを指摘し事態は著しく改善/固定電話普及率1%
1955	30	10		結核予防法改正（健診の範囲拡大、患者の早期把握、療養施設の拡充、医療費負担の軽減）/国民総医療費の26.8%が結核関連/森永ヒ素ミルク中毒事件/高度経済成長始まる/高齢化率5.3%
1956	31	11		国際連合に加盟/鉄腕アトム連載開始
1957	32	12	本宮町立請川（うけがわ）中学校入学（1999年に統廃合し本宮中学校となる）	南極に昭和基地、気象観測開始/結核予防法改正（健康診断、ソラ検査及び予防接種に要する費用は全額公費負担となり、健康診断は乳幼児を除く全国民が年1回受けるように義務付け）
1958	33	13		東京タワー完成/厚生省が第2回結核実態調査実施（前回調査より重症者は25%減少、入院を必要とする者35%減、患者のうち医療を受けている者75%）/結核予防会に全国競輪輸行者協議会、日本自転車振興会、競輪場施設協会の3団体から1億円の寄付（各都道府県に高性能のレントゲン車配車）
1959	34	14		厚生省が全国216ヵ所の保健所管轄地区を「結核対策特別推進地区」に指定し、一般住民に対する検診の強化、患者管理の徹底による完全受療、完全治療、濃厚感染源の一掃を目標として、エックス線自動車の整備図る/皇太子明仁親王と美智子さま成婚/伊勢湾台風/大阪府池田保健所が保健文化賞受賞
1960	35	15	和歌山県立南紀高等学校入学 日中は和歌山県玉置病院にて勤務	60年日米安全保障条約改定反対闘争/池田内閣「所得倍増計画」発表/カラーテレビの放送開始/昭和35年以降、十数年は4~5割の国民が結核健診を受け、早期に診断された結核患者数は230万人以上であった/1960年代「保健所黄昏論」がささやかれる
1961	36	16		結核予防法改正（患者管理制度により、保健所は発見された全患者の登録票を整備、患者の状況把握、確実な治療と治療に持ち込む、排菌している患者の医療費は8割まで国庫負担）により入院患者数は激増/第1次金ヶ崎暴動/第2室戸台風/災害対策基本法成立/国民皆保険制度の実現/平均寿命男65.4歳、女70.3歳
1962	37	17		三種の神器「白黒テレビ・冷蔵庫・洗濯機」の消費ブーム/テレビ普及率48.5%/ソイストが大流行/大阪府が「財団法人西成労働福祉センター」設置/発血による黄色い血問題深刻化/BCG接種等による発病予防、結核健診の完全実施により、新登録患者数が6年ごとに半減
1963	38	18		第3回結核実態調査（要医療者減少）/老人福祉法制定/坂本九「上を向いて歩こう」アメリカで大流行/泉佐野・尾崎崎地区で腸チフスの地域流行（患者104名）
1964	39	19	和歌山県立南紀高等学校卒業「故郷を出て定期制高校に通いながら、夏は病院でレントゲン撮影、臨床検査、薬の調剤、手術の助手もした。高校では健康に恵まれ4年間皆勤で知事より表彰された」と自身のエッディングノートに表現/大阪物療専門学校入学（日中は湯川胃腸病院に勤務）	ライシャワー事件/新潟地震/東海道新幹線開通/東京オリンピック開催/真性コレラで死者
1965	40	20		母子保健法制定/富田林市、河南町で集団赤痢発生(220名)/この頃より水洗便所急増/平均寿命男67.7歳、女72.9歳
1966	41	21	大阪物療専門学校卒業/11月 大阪府に入所し本府勤務（衛生部保健予防課） 診療エックス線技師（のちに診療放射線技師）として着任し、結核対策業務および医療法による医療監査業務に従事	駄老の日が祝日となる/「金ヶ崎」を「あいりん地区」と改称
1967	42	22	大阪府藤井寺保健所に異動/3学年上の静香さんと恋愛結婚	豊中のすし店で集団食中毒患者1008名
1968	43	23		BCG接種法が皮内接種法から経皮接種法（9本の管針で2か所に圧針）に変更となり、接種局所の反応は極めて軽微になり好評。乳幼児では85~90%、学童では95%以上が接種/総人口1億人突破/公害対策基本法公布
1969	44	24	長女誕生	診療エックス線技師法が一部改正され新たに診療放射線技師法制定/第4回結核実態調査（要医療者減少）/3億円事件/イタライタイ病を公害疾患と認定/大阪府下で日脳患者多数（死亡156名）
1970	45	25		東名高速道路開通
				大阪万博開会式/70年日米安全保障条約改定反対闘争/あいりん労働福祉センター（あいりん総合センター）完成/大阪社会医療センター附属病院開所（初代院長本田良寛医師）/水質汚濁防止法制定/開拓保健婦は農林省から厚生省へ移管され、都道府県の保健婦となる/全国高齢化率7.1%・生涯未婚率男性1.7%・女性3.3%

(イラスト：よもぎもち https://www.instagram.com/s_m_maikodayo/)

西暦	和暦	満年齢	井戸武實の歩み	社会の動き
1971	昭和46	26		悪臭防止法制定/固定電話普及率30%
1972		47	27 長男誕生	冬季札幌オリンピック開催/山陽新幹線開通/沖縄返還/ 難病対策要綱策定/老人福祉法一部改正（老人医療の無料化）
1973		48	28	第一次オイルショック/第5回結核実態調査（要医療者減少、東日本に比して西日本の有病率が高い）
1974		49	29	小野田寛郎少尉ルパング島より29年ぶりに帰国/結核予防法改正（毎年実施していた検診を、患者の発生状況、エックス線被曝による健康影響等を考慮し、小中学校の検診回数の削減、BCG接種の定期化（4歳未満、小1、中2の3回））2003年まで続く
1975		50	30 大阪府松原保健所に異動	日本で初めてCT；Computed Tomography（コンピュータ断層撮影）が導入される/全国高齢化率7.9%
1976		51	31	ロッキー事件
1977		52	32	日航機ハイジャック事件
1978		53	33	日中平和友好条約/西成労働福祉センターが「センターだより」創刊/全国水道普及率90%以上に拡大
1979		54	34	WHO天然痘終結宣言/第二次オイルショック
1980		55	35	平均寿命男73.5歳（世界一位）、女78.9歳（世界二位）
1981		56	36 大阪府泉大津保健所に異動	中国残留孤児 初来日/アメリカでエイズ患者発生
1982		57	37	「大阪公衆衛生協会」（梶原三郎協会長当時）が「第34回保健文化賞」受賞/ 老人保健法公布/全国下水道普及率30%以上、全国水洗便所普及率約60%（浄化槽を含む）
1983		58	38 法改正により診療放射線技師となる	診療放射線技師法改正により、診療エックス線技師は廃止され、診療放射線技師に一本化/ 老人保健法施行/三宅島 大噴火
1984		59	39	グリコ・森永事件
1985		60	40	「大阪公衆衛生協会」が財団法人となる/ 日本航空123便墜落事故/日本でエイズ第1号患者報告/全国高齢化率10.3%
1986		61	41	チュルノブリ原発事故発生
1987		62	42	国鉄民営化/精神保健法（旧精神衛生法）成立
1988		63	43	青函トンネル開業/リクルート事件
1989	平成 1	44	大阪府富田林保健所に異動	消費税3%開始/エイズ予防法施行/大阪にてアスベスト調査開始
1990		2	45	「2000年までにフロン全廃」（モントリオール議定書）/鶴見緑地で国際花と緑の博覧会開催/ 大阪社会医療センター付属病院開院（外来診療業務開始）/平均寿命男75.9歳、女81.9歳
1991		3	46 大阪府保健衛生部保健予防課結核係主査として大阪府全体の結核対策に従事し、府下の病院・診療所などに在勤するすべての医師に結核の基礎から臨床、対策にいたる研修の企画実施に尽力（2000年まで）	バブル経済崩壊/雲仙普賢岳火碎流/リサイクル法公布/脳死認定が脳死者から臓器移植を認める答申
1992		4	47	毛利衛ら宇宙へ（日本人科学者初）/世界のHIV感染者1000万人突破/育児休業法施行/国内初の顎微受精による赤ちゃん誕生/国家公務員の完全週休2日制スタート/学校週休2日制スタート
1993		5	48	北海道南西沖地震/環境基本法成立（公害対策基本法廃止）/地球温暖化防止条約発効/ 外国人技能実習制度スタート/皇太子徳仁親王と雅子さま御成婚/出生率過去最低/離婚率過去最高
1994		6	49	松本サリン事件/1947年制定の保健所法が地域保健法に改正（保健所数の半減等）/保健婦駐在制度廃止/ 関西国際空港開港
1995		7	50	阪神・淡路大震災（M7.3）/地下鉄サリン事件/育児・介護休業法成立/全日空機ハイジャック事件/ 全国高齢化率14.5%
1996		8	51	携帯電話1000万台突破/腸管出血性大腸菌O-157の全国的大流行/堺市でO157大集団発生/大阪府下のHIV感染者が100人を突破
1997		9	52 初孫誕生	地域保健法全面施行/戸神連続児童殺傷事件/地球温暖化防止京都会議/臓器移植法施行/消費税5%に引き上げ
1998		10	53	郵便番号が3桁から7桁に/長野冬季オリンピック開催/明石海峡大橋開通/和歌山毒物カレー事件/ あいりん地区の野宿者に赤痢発生（1998年5月～1999年4月に真性赤痢患者186名、疑似赤痢患者46名）
1999		11	54	感染症法施行/「結核緊急事態宣言」発令/ダイオキシン対策法成立/ 大阪市が大阪社会医療センター付属病院の場を借りて看護師による来所型のDOTS開始
2000		12	55 大阪府藤井寺保健所地域保健課放射線検診科長（課長補佐）に異動 エックス線自動車（はと号）の運用に尽力	大阪府が22保健所7支所から15保健所14支所へ再編/大阪府に全国初の女性知事誕生/移動電話が固定電話を抜く/介護保険制度スタート/児童虐待防止法施行/交通事故法成立/結核罹患率（人口10万対）31.0
2001		13	56 大阪市が「第1次大阪市結核対策基本指針」を（STOP結核作戦）策定、あいりんの結核罹患率（10万対）は2009年で50以下に半減し目標は達成された 二人目の孫誕生	大阪ホームレス健康問題研究会が発足（発起人 黒田研二・逢坂隆子）/「ホームレスの死亡調査（大阪ホームレス研究会）と大阪府監察医事務所が共同で2000年に大阪市内で発生したホームレスの死変の全数調査実施）/大阪市があいりんで地域型DOTS開始/大阪教育大学付属池田小学校児童殺傷事件/アメリカで同時多発テロ
2002		14	57	保健婦助産婦看護婦法一部改正し保健師に名称変更/ホームレス自立支援特別措置法成立 住民基本台帳ネットワークスタート/北朝鮮による拉致被害者のうち5人が24年ぶりに帰国
2003		15	58	大阪府が14保健所7支所に再編/小学生・中学生に対するワクチン接種率/受動喫煙防止を義務付けた健康増進法施行/SARSを新興感染症に指定/大阪市高齢者特別就労（清掃）事業従事者健康調査（2003～2005年）
2004		16	59 三人目の孫誕生	大阪府が14保健所に再編（支所の廃止）/拉致被害者の子どもたち5人が帰国/新潟県中越地震/発達障害者支援法成立/ノロウイルス感染の集団発生多発
2005		17	60 大阪府藤井寺保健所定年退職後、2年間同保健所にて再任用職員となる	WHO勧告によりBCG接種対象者を生後6か月までに変更/JR福知山線脱線事故で107名死亡/合計特殊出生率1.26/全国高齢化率21.0%

西暦	和暦	満年齢	井戸武實の歩み	社会の動き
2006	平成18	61	10月 NPO法人 HEALTH SUPPORT OSAKA (HESO) が設立される 大阪市がHESOの要請でCR (Computed Radiography) 検診車を用いた結核健診開始（結核の即日判定、即日治療開始）	ライブドアショック//1951年から続いた結核予防法廃止/高齢者虐待防止法施行/自殺対策基本法成立/飲酒運転による交通事故が多発/生活保護世帯初めて100万超
2007		19	62 大阪府藤井寺保健所退職 井戸武實はNPO法人 HEALTH SUPPORT OSAKA (HESO) 常任理事兼事務局となる	結核予防法が感染症法に併合(結核は二類感染症に分類)/がん対策基本法施行/飲酒運転ドライバーの罰則強化/郵政民営化開始/原油価格、穀物価格の高騰/平均寿命男79.2歳、女86.0歳
2008		20	63	後期高齢者医療制度/メタボ対策義務化始まる/秋葉原通り魔事件/リーマンショック/結核予防会結核研究所が結核菌パンク、臨床・疫学部および疫学情報センター開設/大阪府のはと号全廃
2009		21	64	国内初の新型インフルエンザの感染者確認/裁判員制度スタート/高齢ドライバーの免許更新で認知機能検査義務付け
2010		22	65	診療放射線技師法一部改正（診療放射線技師の業務に「画像診断における読影の補助や放射線検査等に関する説明や相談を行うこと」が新たな役割として追加）/待機児童過去最多/子ども手当支給開始/家畜の伝染病口蹄疫で宮崎県が非常事態宣言/東北新幹線全線開通
2011		23	66 大阪市が「第2次大阪市結核対策基本指針」策定、今後10年間で結核罹患率を半減する目標（人口10万人あたり25人以下にする）を設定。HESOが「平成23年度即立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業西成区に住む単身高齢者の健康生活支援事業」を実施。井戸は翌年、103ページ分の報告書作成	日本のGDP世界3位に後退/東日本大震災（M9.0）/福島第一原発事故/九州新幹線全線開通/小学校の英語の修習化/生肉ユッケで食中毒5人死亡/生活保護受給者200万人超（59年ぶり）/復興基本法成立/大阪社会医療センター附属病院が結核の核酸増幅検査（TRC法）開始、翌年にはLAMP法導入
2012		24	67 井戸武實が読売新聞社より「第40回大阪府医療功労賞」受賞	大阪府保健所が13に編成/東京スカイツリー開業/100歳以上5万人超過去最多
2013		25	68 3月 NPO法人 HEALTH SUPPORT OSAKA (HESO) 解散 4月「財団法人大阪公衆衛生協会」が公益財団法人となり、井戸武實が事務局長に就任 釜ヶ崎支援機構による「高齢者特別清掃事業就労者及びシェルター利用者を対象とした結核に関する聞き取り調査」を指導、実施	BCG接種対象者を1歳未満に変更/障害者総合支援法施行/いじめ防止対策推進法成立/富士山世界文化遺産登録/西成労働福祉センターが公益財団法人化/和食がユネスコ無形文化遺産に登録/改正生活保護法・生活困窮者自立支援法成立
2014		26	69 高島毛敏雄の助言で1年間の準備期間を経て有志による第1回「大阪結核勉強会」が発足し、井戸武實は事務担当。「ストップ結核パートナーシップ関西」第1回ワークショップ開催にも関わり、以後2024年の第11回開催まで尽力	大阪府保健所が12に再編/診療放射線技師法の一部が改正され、業務内容が拡大/大阪市に日本一高いビル「あべのハルカス」開業/消費税8%に引き上げ/難病法成立/広島土砂災害・御嶽山噴火
2015		27	70 任意団体「ネバールの医師になりたい少女を支援する会」実行委員長としてネバールの女子高生が現地大学医学部への進学に必要な学費250万円を目標に募金活動開始	振り込み詐欺被害額が初めて500億円超/女性活躍推進法成立/医療事故調査制度スタート/マイナンバー法施行
2016		28	71 この頃よりFacebook開始	北海道新幹線開通/電力自由化スタート/障害者差別解消法施行/熊本地震/平均寿命男80.5歳、女86.8歳
2017		29	72	大阪日日新聞が大阪社会医療センター附属病院び本良寛初代院長の連載記事全9回/生活保護受給者・生活保護不正受給とも過去最多
2018		30	73	大阪府保健所が11に再編/子ども食堂急増/成年人18歳に引き下げる改正法成立/西日本豪雨/民間企業の障害者雇用率過去最高に/埼玉熊谷で観測史上国内最高気温41.1°C/いじめ過去最多/不登校14万人超過去最多/子どもの自殺が平成で最多
2019	令和 1	74	「新あいりんシェルター居場所利用者を対象とした結核に関する聞き取り調査」に参加	大阪府保健所が10に再編/消費税10%に引き上げ（軽減税率対象物8%）/12月に中国の武漢市で原因不明の肺炎が集団発生（翌2020年1月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）であることが判明）/あいりん総合センター閉鎖/西成労働福祉センターが移転
2020		2	75 大阪結核勉強会が大阪社会医療センター付属病院新病院を見学（新病院は旧病院から南に約300mの位置に新築移転。新たに設置された陰圧室や、結核検査の採痰時に飛沫の拡散を防止する採痰ブース等を見学。1階には病院の歴史を示す資料コーナーがあった）	大阪府保健所が9に再編/新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し指標感染症（2類相当）に指定、保健所が新型コロナ発熱患者相談窓口開設、感染拡大防止のため小中高校が一斉休校（2月）緊急事態宣言（4月）/東京五輪が翌年に延期/レジ袋有料化/結核予防会結核研究所が入国前結核スクリーニング精度管理センター設置/大阪社会医療センター附属病院新病院開院/結核罹患率（人口10万対）10.1/生涯未婚率男性28.3%・女性17.8%
2021		3	76 3月 「公益財団法人大阪公衆衛生協会」解散	新型コロナウイルスワクチン接種開始/大谷翔平選手が米大リーグの最優秀選手に/結核罹患率（人口10万対）9.2で低基準国入り
2022		4	77 「ネバールの医師になりたい少女を支援する会」で支援したネバールの学生が現地大学医学部を卒業	ロシアによるウクライナ侵攻開始/冬季北京オリンピック・パラリンピック開催、日本勢のメダル冬季最多/熱海で大規模な土石流災害/東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催/結核罹患率（人口10万対）8.2
2023		5	78 4月 第47回全国吟詠コンクール大阪府東連合大会一般三部優勝 喩題「春夜洛城に笛を聞く」 5月 大阪府大会出場 8月 近畿決勝大会出場 エンディングノートを作成、「大切な思い出」の欄に「人生に悔いなし!!書き切れない!!」と表現	新型コロナウイルス感染症は5類感染症（定点把握感染症）に移行、保健所の新型コロナ発熱患者相談窓口終了/阪神タイガース38年ぶりの優勝/合計特殊生率1.20過去最低/結核罹患率（人口10万対）8.1
2024		6	79 3月、2014年発足の大阪結核勉強会に第106回まで毎月参加（時に和歌山親族宅よりリモート参加） 3月「ストップ結核パートナーシップ関西」第11回ワークショップの二次会場で感動の詩吟を披露 5月6日、永眠（享年80）	能登半島地震（M7.6）/北陸新幹線、金沢一敦賀間開業/総人口約1億2488万人/平均寿命男81.1年、女性87.1年/大阪府が「あいりん総合センター」を解体するため路上生活者に立ち退き訴訟、大阪府の申し立てにより地裁が路上生活者らに立ち退きの強制執行/小中高生の自殺が過去最多（529人）
2025		7	1月 「ストップ結核パートナーシップ関西」第12回ワークショップに遺族（妻・長女・長男・孫娘）も参加	「あいりん総合センター」解体後の活用方法は行政や住民、労働者団体などの約30団体で構成される「あいりん地域まちづくり会議」で検討中/大阪で中国系民泊が急増中（特に西成区）/大阪・関西万博開催

文献 :

- ・高島毛敏雄、原昌平。第9章 結核対策、脱・貧困のまちづくり「西成特区構想」の挑戦。鈴木亘編。明石書店。2013. <https://www.city.osaka.lg.jp/nishinari/cmsfiles/contents/0000187/187570/09.pdf>
- ・高島毛敏雄。大阪公衆衛生協会の設立から解散までの歴史。大阪公衆衛生。2021; 92:4-10.
- ・松田岳彦。大阪結核勉強会からストップ結核パートナーシップ関西へ。社会医学研究。2021; 38 (2), 156-162.
- ・小池憲也編。全衛連創立50周年記念事業 健康診断関係年表②【感染症に関する健康診断】結核健康診断。2019; 98-139 <https://www.zeneiren.or.jp/anniversary/index.html> (2025年2月15日アクセス)
- ・大阪府立公衆衛生研究所。大阪府立公衆衛生研究所50年の出来事 1960年～2009年。創立50周年記念誌。2010; 6-16. 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所HP <https://www.ipb.osaka.jp/s001/010/010/050/020/20180101030000.html> (2025年1月30日アクセス)
- ・社会福祉法人大阪社会医療センター。50年のあゆみ (1970-2020). https://osmc.or.jp/history_20210319/ (2025年2月20日アクセス)
- ・公益財団法人結核予防会結核研究所(RITJATA)。結核研究所関係年表。 <https://jata.or.jp/outline/history/#chronology> (2025年2月23日アクセス)
- ・厚生労働省。人口動態統計年報 主要統計表 死因順位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移。 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suui09/deth7.html> (2025年2月23日アクセス)
- ・内閣府.防災情報のページ 自然災害による死者・行方不明者数.https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r04/honban/3b_6s_07_00.html (2025年2月21日アクセス)
- ・藤晶子、安本理抄。第二次世界大戦後の感染症対策としての産官連携スキーム－結核対策を事例として－。makoto. 2024; 206-27
- ・三浦康代監修。八幡校区敬老会(尚歯会)「100回の歩みと人々の暮らし」、八幡地区連合自治会(姫路市地域資源保存継承助成事業による)。2018; 23-24.
- ・日本ビーシージー製造株式会社。結核の歴史 結核とBCGの歩み。 https://www.bcg.gr.jp/general/cat1/post_6.html (2025年2月22日アクセス)
- ・NHK. キーワードでみる年表 平成 30年の歩み。 <https://www3.nhk.or.jp/news/special/heisei/chronology/> (2025年2月20日アクセス)
- ・菅谷正範。診療放射線技師の歴史を知ろう、スタディサプリ里路中.<https://shingokunet.com/bunnyq/w0033/x0440/rekishi/> (2025年2月26日アクセス)
- ・厚生労働省: 第22回生命表（完全生命表）の概要 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/23th/index.html> (2025年1月12日アクセス)
- ・総務省統計局: 人口推計。 www.e-stat.go.jp/stat-search/files?stat (2025年2月11日アクセス)